

和歌山

和歌山支局

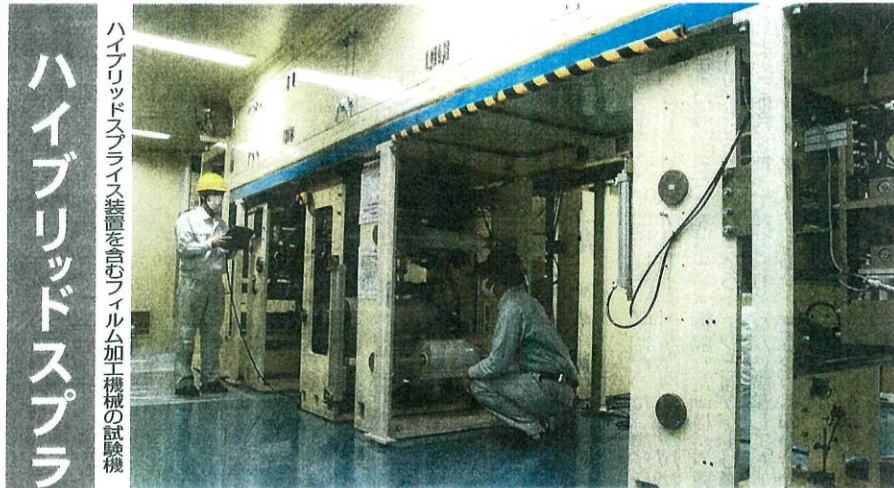
〒640-8154 和歌山市六番丁5
日進和歌山ビル4階
TEL073(431)1411
FAX073(433)0650
wakayama@mainichi.co.jp

【通信機関】

橋本 0736(32)0063
田辺 0739(26)1026
新宮 0735(23)0203

【広告問い合わせ】073(423)9291
【購読問い合わせ】0120-468012

山東鐵工所 和歌山市



ハイブリッドスプライス装置

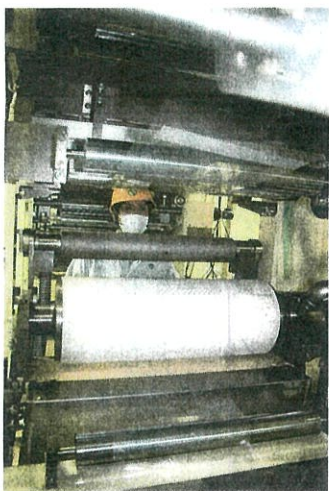
ハイブリッドスプライス装置を含むフィルム加工機械の試験機

イス装置が欠かせない。搬送中の基材が残りに少なくなると、新たなロールから基材を自動で継ぎ足すことで、連続生産を可能にして

テープを使う基材のつなぎ方には2種類ある。「突き合わせ」は端をそろえて片面テープで接着し、「重ね合わせ」は端を重ねて片面テープで貼り合わせる



試験機として設置されたハイブリッドスプライス装置



スプライスは「つなぎ合と、従来品の10分の1以下に飛躍的に短縮し、速さと正確さを兼ね備える。高速化はスプライスに要する停止時間の削減に直結する。ラインは走行中のため、停止時間に応じて基材材をつなぎ合わせるスプラ

キユームレーター」という装置が必要になるが、停止時間が短くなる分、小型化とコストダウンが図れる。小型化によって装置内で基材がローラーと接触する回数が増え、擦過による不良品の発生も抑えられる。光

「オリジナルタイプ」を追求し、オンリーワンを目指す」と合言葉に、近年は印刷済みフィルムを再利用できるインク剥離洗浄機を開発するなど、環境対応もテーマに掲げる。4代目社長の河井恒治さん(76)は「会

基材つなぎ大幅時短

多いという。社内にはハイブリッドスプライス装置を含めたフィルム加工の試験機を設置。顧客側が基材を持ち込んでテストでき、要望に応じてオーダーメードで製造する。1920年に初代社長の山東美一さんが創立した製材木工機械を手掛けていたが、戦後、織物用の染色整理機械に事業転換した。72年には染色の前段階である糊抜き、精練、漂白の連続装置で「大河内記念技術賞」を真内で初めて受賞。現在は国内で染色整理機械一式を製造できる唯一の企業となり、新規事業として2013年にフィルム事業を発売させた。

業種 繊維・産業資材用機械の製造販売
所在地 和歌山市宇須4の4の5
電話 073・423・9311
設立 1920年
資本金 2475万円
従業員数 56人

銚子・外川港の街づくり

絵と文・熱田親憲 題字・熱田素華

紀伊・房総 くりしお物語

2間半で長さ21間の船が移入して、総勢約5000人の漁村と漁師や商人とその家族が住む町が作られてい

短信

ベタンク初心者講習会

10月4日から11月1日までの毎週火曜に、金魚のボールを投げたり転がしたりして対戦相手より近づけ、得点を競うフランス発祥の競技。受講無料で、先着20人。住所、氏名、

1661(寛文元) 主者が曾えて、外川港 享保末(ころこま、外 1000名を越えたと